

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公開番号】特開 2018-164793 (P2018-164793A)

【公開日】平成 30 年 10 月 25 日 (2018.10.25)

【年通号数】公開・登録公報 2018-041

【出願番号】特願 2018-145486 (P2018-145486)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 10 日 (2020.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

音演出を実行可能な音演出手段と、  
 光演出を実行可能な光演出手段と、  
 前記音演出手段による音演出を実行制御する音演出制御手段と、  
 前記光演出手段による光演出を実行制御する光演出制御手段と、を備える遊技機であって、  
 前記音演出には特定楽曲を用いる特定音演出が含まれ、  
前記特定音演出には、前記特定楽曲の第 1 部分から始まる第 1 特定音演出と、前記第 1 部分とは異なる第 2 部分から始まる第 2 特定音演出とが含まれ、  
 前記音演出制御手段は、  
前記第 1 特定音演出を実行する場合、第 1 音量で実行可能とし、  
前記第 2 特定音演出を実行する場合、前記第 1 音量よりも大きい第 2 音量で実行可能に  
 構成された、  
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記音演出制御手段は、  
前記第 1 特定音演出を実行する場合、第 1 音源を用い、  
前記第 2 特定音演出を実行する場合、前記第 1 音源とは異なる第 2 音源を用いる、  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記光演出制御手段は、  
前記第 1 特定音演出実行中に、前記光演出を第 1 態様で実行可能であり、  
前記第 2 特定音演出実行中に、前記光演出を前記第 1 態様とは異なる第 2 態様で実行可能である、  
 ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、上記遊技機では、B G Mの切替えによりスピーカやランプの演出態様が変化した際に、遊技者に不快感を与える恐れがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

そこで本発明の目的は、上記課題を解決し、演出の変化により遊技者が受ける不快感を防止しうる遊技機を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、演出の変化により遊技者が受ける不快感を防止し得る。